

第7回 苫小牧市食育推進協議会 開催結果

日 時	令和元年8月19日(月) 18:30~19:40
場 所	市役所2階21会議室
出席委員	五十嵐委員、市町委員、上村委員、齊藤委員、四竈委員、重田委員、高橋委員、辻屋委員、野村委員、福原委員、藤岡委員、藤林委員 (敬称略、五十音順)
事務局	健康こども部健康支援課
会議次第	1 開会 2 苫小牧市長挨拶 3 議事 (1) 食育推進計画の実施結果・実施計画について (2) 食育月間における取組について (3) 苫小牧市食育人材バンクの実施状況について (4) その他 4 閉会
議事録	別紙のとおり

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>定刻になりましたので、ただ今から「第7回苫小牧市食育推進協議会」を開催いたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、お忙しい中御出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>本日、司会を務めます、健康支援課課長補佐の鳥羽と申します。よろしくお願いたします。</p>
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>はじめに、岩倉市長から、委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。</p> <p>事務局がお名前を読み上げますので、その場でご起立願います。また、委嘱状を受け取りましたら、ご着席願います。</p>
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>続きまして、岩倉市長よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>(市長挨拶)</p> <p>市長は他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。</p>
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>続きまして、委員の皆様から自己紹介をいただきたいと思ひます。皆様のお席にマイクを設置しておりますので、発言の際は、ボタンを押していただき、終わりましたらもう一度押していただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、お席順に五十嵐委員からお願いいたします。</p> <p>(各委員より自己紹介)</p>
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>(事務局職員より自己紹介)</p>
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>続きまして、委員長・副委員長を選出したいと思ひます。</p> <p>苫小牧市食育推進協議会設置要綱第5条により、協議会に委員長・副委員長を各1人置くこととなっており、委員長の選出につきましては、第5条第2項に「委員長は、委員の互選により決定する」と規定されております。また、第5条第3項に「副委員長は委員長の指名により決定する」と定められております。</p> <p>はじめに、委員長の選出方法についてお伺ひいたしますが、委員の皆様から特段ご意見がなければ、事務局案をお示しさせていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局といたしましては、苫小牧市中学校長会推薦の五十嵐委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。ご承認いただける場合は拍手をお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、五十嵐委員を本協議会の委員長として、議事を進めてまいりたいと思います。五十嵐委員長、中央の席へご移動願います。</p>
鳥羽課長補佐 五十嵐委員長 鳥羽課長補佐	<p>早速ですが、委員長から、副委員長のご指名をお願いいたします。</p> <p>それでは、副委員長は、苫小牧商工会議所推薦の市町委員にお願いしたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員長と副委員長からご挨拶を頂戴したいと思います。五十嵐委員長からお願いいたします。</p> <p>(五十嵐委員長挨拶)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして市町副委員長お願いいたします。</p> <p>(市町副委員長挨拶)</p>
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>ありがとうございました。</p> <p>これより議事に入りますが、本日は、現時点で12名の委員の皆様にご出席いただいておりますので、苫小牧市食育推進協議会設置要綱第6条第2項に基づきまして、本協議会が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>また、苫小牧市食育推進計画の冊子をお持ちでない方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせください。</p> <p>なお、本日の会議は、20時頃を目途に終了したいと考えておりますので、円滑な議事の進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、これからの司会進行は、苫小牧市食育推進協議会設置要綱第5条第4項に基づき、委員長にお願いしたいと思います。</p> <p>五十嵐委員長、よろしくお願いいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
五十嵐委員長	<p>それでは、議事1の「食育推進計画の実施結果・実施計画」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (健康支援課主事)	<p>健康支援課の吉田と申します。</p> <p>議事1の食育推進計画の実施結果・実施計画の説明に入る前に、今回新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、改めて苫小牧市食育推進計画の概要についてご説明させていただきます。</p> <p>本計画は、食育基本法に基づく市町村計画として平成29年11月に策定しており、計画期間は平成29年度から令和3年度までの5年間となっております。</p> <p>本計画の策定に当たりましては、平成28年11月に食育に関する市民アンケートを実施しており、そこから見えた本市の現状・課題などを踏まえ、基本理念と基本目標を定めております。</p> <p>冊子の31ページに記載をしておりますが、本計画では「生涯にわたって健全な食生活を実現し、豊かな心と健やかなからだをつくります」という基本理念を掲げております。</p> <p>また、基本理念を実現するための基本目標として、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「食」を学び、健康なからだをつくります 2 「食」を楽しみ、感謝の気持ちを育みます 3 「食」にふれあい、苫小牧の味を伝えます <p>の3つを掲げております。さらに、この基本理念と基本目標を推進するための重点項目として、32ページに記載されている「とまこまいライフ」を設定しております。</p> <p>以上が、本計画の軸となる考え方でございますが、これに基づき、各ライフステージに応じた取組を展開しているところでございます。</p> <p>34ページから45ページにかけては、3つの基本目標とそれに紐づく各種事業を掲載しております。</p> <p>基本目標1に対応する事業といたしましては、主に健康なからだづくりにつながるものとして、各種健診や健康づくりに関する講習会などを位置付けております。</p> <p>基本目標2につきましては、食の楽しさを学び、マナーや感謝の気持ちを育むものとして、親子で参加できる料理教室や食品ロス削減への意識を高める事業などが盛り込まれています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課主事)	<p>基本目標3に関する事業といたしましては、苫小牧市の食文化への興味を高め、地産地消を促すものとして、学校給食における郷土食の提供や、地場産品を味わうイベントなどを位置付けております。</p> <p>47ページには、本計画を推進する上での数値目標を記載しており、計画の最終年度に改めて効果測定を行う予定となっております。</p> <p>48ページからは、本計画の推進に係る各団体との連携体制や各主体の役割、計画の進行管理について記載しております。</p> <p>以上、簡単ではございますが、苫小牧市食育推進計画の概要について説明を終わらせていただきます。</p> <p>続いて、食育推進計画の平成30年度の実施結果・令和元年度の実施計画について説明させていただきます。お手元の資料3をご覧ください。</p> <p>こちらの資料は、食育推進計画に掲げている各事業の平成30年度の実施結果と令和元年度の実施計画を記載しております。事業が非常に多いため、抜粋してご報告させていただきます。</p> <p>まず、1ページ目の項番1「母親教室」についてですが、平成30年度までは妊娠中のお母さんを対象に実施しておりましたが、栄養の大切さをご両親に向けて伝えるという目的から、今年度からはお父さんも一緒に参加いただける「パパママ教室」に変更して実施しております。</p> <p>同じく1ページの項番7「親子デンタル教室」は、平成30年度は年3回開催し、57名に参加いただきました。今年度はより多くのお父さん・お母さんにご参加いただけるよう、開催回数を6回に増やし、虫歯予防に関する知識のさらなる普及啓発に努めているところでございます。</p> <p>続いて、2ページをご覧ください。</p> <p>項番22の「特定健康診査・特定保健指導」と項番24の「後期高齢者医療健康診査」につきまして、平成30年度の実施結果は記載のとおりの数値となっておりますが、今年度は「みんなで健幸大作戦！」を実施しているということもありまして、これらの特定健診の受診率向上をするために、来週の8月27日から始まる「まちかどミーティング」において、特定健診を受診してくださいという寸劇形式のプレゼンを実施する予定です。お時間のある方は、ぜひ、お住まいの町内会で開催されるまちかどミーティングにお越しください。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課主事)	<p>続きまして3ページ目は、基本目標2に関する事業を掲載しております。項番35「献立内容の充実」として、児童や生徒さんが考案したメニューを実際に給食で提供しており、楽しみながら栄養バランスについて考えるきっかけづくりを行っております。</p> <p>また、項番37の「食物アレルギー対応」につきましては、今年度から市内の全小中学校へのアレルギー対応食の提供体制が整ったことから、アレルギーのある児童生徒も、クラスメイトと同じように安心して給食を楽しむことができるよう、提供数の拡大に取り組んでまいります。</p> <p>次に4ページをご覧ください。基本目標3に関する事業を掲載しております。項番58の「健康フェスタ」につきましては、食育に関するクイズや栄養士会の皆さまのご協力をいただき、食育SATシステムを活用した食事バランスチェックなどを実施しております。</p> <p>先ほど市長からも申し上げましたが、今年の健康フェスタは9月22日(日)に開催予定ですので、委員の皆様もぜひご来場いただければと思います。項番59の「食育月間の取組」につきましては、このあと議事2で詳細をお話いたしますのでここでは割愛させていただきます。</p> <p>最後に5ページですが、こちらは基本目標1～3すべてに共通する事業を掲載しております。項番62の「食育人材バンク」は、昨年度実施に向けた説明会を開催いたしまして、今年度から運用をスタートしております。こちらについては議事3で詳しくご説明いたします。</p> <p>食育推進計画の実施結果・実施計画につきましては、以上でございます。</p>
五十嵐委員長	<p>それでは、ただいま説明がありました議事1について御質問や御意見がありましたら挙手をお願いしたいと思います。主に食育推進計画についての説明だったかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
市町委員	<p>32ページの重点項目の「とまこまいライフ」のイのところの一緒に食べて楽しい食卓ということですが、うちの町内会は1人の方が多いので、1人で食べてもおいしい食卓ですとか、一緒に食べてとかになりますとどんどん独居老人が多い中で、あと独身の人はどうするのか。</p>
五十嵐委員長	<p>表現の仕方ということですよ。</p>
市町委員	<p>一緒に食べてということは、相手がいるからということですよ。もともと1人はたくさんおります。うちの町内会は高齢化率実質1位2位なものですから、大町寿町内会は、1人でおいしい少し手の加えたものを食べて作って完食するというものもあるのではないかと思います。一緒には常に誰かと一緒にいるという前提ですよ。</p>

発 言 者	発 言 内 容
五十嵐員長	<p>御意見として承ります。他にございますか。</p> <p>続きまして議事2の「食育月間における取組」について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局 (健康支援課主査)	<p>健康支援課の松田と申します。</p> <p>私の方からは「食育月間における活動」についてご説明させていただきます。パソコンを操作いたしますので、着座にてご説明いたします。</p> <p>お手元の資料4もしくはスライドの見やすい方でご覧ください。</p> <p>まず1つ目は図書館食育コーナーになります。</p> <p>今年度も昨年度同様、6月1日～6月30日までの1ヶ月間、中央図書館において、食育への関心を高めるため、食に関する図書コーナーを設置していただきました。</p> <p>小さなお子様や保護者の方々にも、目につくよう本の配置が工夫されました。</p> <p>2つ目は出前講座になります。</p> <p>今年度、中央図書館の赤ちゃん広場で『食育について』の出前講座の依頼があり、0～1歳児の親子13組の参加がありました。</p> <p>管理栄養士から家庭で取り組む乳幼児期の食育について、また栄養バランスについて食育エプロンを活用しながら、親子共々視覚的にも楽しめる内容が盛り込まれていました。</p> <p>6月29日には、みんなで健幸大作戦のイベントである、みんなでラジオ体操・謎解きウォーキングを実施いたしました。</p> <p>小さなお子さんも楽しめる2キロコースと、まちなかスポットをめぐる5キロコースを設定し、食育クイズを解きながら、楽しくウォーキングを行いました。</p> <p>全8問の食育クイズの正解とそのキーワードを医師会館・保健センターに立ち寄っていただくよう設置し、また二会場共に、食育のパネル展示を行い普及啓発をさせていただきました。</p> <p>そして、先ほど市長の挨拶にもありましたが、今年度はみんなで健幸大作戦を実施しています。</p> <p>4つの行動目標を設定しておりまして、1つ目は「定期的な検診受診」、2つ目は「適切な食生活」、3つ目は「禁煙」、4つ目は「適度な運動」この中の2つ目、「適切な食生活」についての取組を追加でご説明させていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課主査)	<p>まずは、食育人材バンクです。食育人材バンクは、食育の伝道師として技術や知識を持った方を登録し、イベントや出前講座の講師として派遣いたします。こちらについては、次の議事で詳しくご説明させていただきます。</p> <p>次に健康レシピの募集です。「作る健康、食べる幸せ」をキャッチフレーズに、低カロリー、減塩、糖質カットなど、自宅で手軽に作れるヘルシーレシピを募集し、紹介する事業となっております。こちらはR e c iコンとして、5月まで募集し、最終審査を6月23日に実施いたしました。</p> <p>こちらが、最優秀賞の「野菜たっぷりミートソーススパゲッティ」です。大豆を使ったことが高評価で、きのこの食感も良く、食材の味がよく引き出されていると好評でした。</p> <p>次に優秀賞と審査員特別賞になります。優秀賞については、9月に毎年開催しております「健康フェスタ」というイベントで、100食限定で市民の皆様にご実食いただく予定です。</p> <p>また、5月から保健センターで「楽しく、おいしく、学べる健幸レストラン」を開店しております。苫小牧市保健センターの管理栄養士と市内の料亭が共同開発したヘルシーランチを1,000円で提供しており、さらに3種類以上のがん検診を受診すると700円の優待価格で食べられます。もちろん栄養士のミニ講話と、とまチョップ水もつきます。そして、とまチョップポイント200ポイントもつきますので、がん検診を受診した方は実質500円となりますので、とてもお得にお召し上がりいただけます。開店日は、5月から2月までの年10回、30食限定で実施しております。</p> <p>こちらは健幸大作戦!のメインイベントは健康フェスタ2019となります。先ほどからも何度もご説明がありますが、こちらについては食についてのたくさんのブースを用意しておりますので、委員の皆様、ぜひお誘いあわせの上、お越しいただければと思います。</p> <p>「食育月間における取組」の報告については以上でございます。</p>
五十嵐委員長	<p>ただいま説明がありました議事2の「食育月間における取組」について、御質問や御意見等がありましたら、挙手をお願いします。</p>
斉藤委員	<p>私前回はこちらの食育推進計画の作成に協力させていただきました。どのようにこれが実際に行われるのかというところが、どんなふうになっていくのかなと思っていたのですが、特に今お話しいただいた3番のウォーキングのところでは参加者が600人ということで、たくさんの市民の方が興味を持って参加していただいたとお伺いしまして、また次のステップにいろいろなイベントをしていただきたいと思いますと思いました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
五十嵐委員長	<p>他にございますか。</p> <p>続きまして、議事3の「苫小牧市食育人材バンクの実施状況」についての事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局 (健康支援課主査)	<p>「苫小牧市の食育人材バンクの実施状況」についてご説明いたします。</p> <p>まず、食育人材バンクの内容について、すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、目的・しくみ・利用方法について簡単にご説明させていただきます。苫小牧市食育人材バンクの目的ですが、「食育」に関するさまざまな分野で専門的な知識や経験を有する苫小牧市食育人材バンクの登録者が、必要な指導・助言を行うことにより、地域の特性を活かした食育の推進に資することを目的とするとしておりまして、登録者の業務は食育に関する事項について指導および助言を行う。食育の担い手となる人材を育成する。苫小牧市食育推進計画の目標達成を図るといったことがあげられます。</p> <p>食育人材バンクの仕組みについてですが、まず私たち健康こども部健康支援課が事務局として、登録者の名簿をホームページ等で公開したり、現在、町内会・幼稚園・保育園等にPRさせていただいております。</p> <p>食育人材バンクに興味をもった市民の方や、今の食育活動をもっと活発にしたいと思っている団体等が事務局に申し込みを行いますので、そこで事務局が依頼者に登録者を紹介いたします。私たち事務局が仲介の役割をするといった仕組みになっています。</p> <p>次に、利用方法について詳しく説明させていただきます。</p> <p>苫小牧市食育人材バンクは、食育に関する講話や体験を希望する依頼者、食育にかかわる分野で専門的な知識や技術の指導、助言を行うことができる食育人材バンク登録者、事務局である健康支援課の3つの機関で行います。</p> <p>流れとしては、①依頼者は、希望する食育人材バンク登録者や日程が決まりましたら、依頼書を事務局に提出します。次に、②事務局が、登録者と日程の調整をいたします。調整がつきましたら、③事務局から依頼者へ登録者を紹介いたします。④依頼者と登録者の間で詳細な打ち合わせを行います。⑤依頼者と登録者の間で、日程や時間の変更があった場合について、事務局に連絡をいただいています。⑥そして当日に食育活動を実施し、⑦有償の場合、依頼者が登録者に支払いを行います。⑧最後に、登録者が活動報告書を事務局に提出するといった流れになっています。</p> <p>現時点での食育人材バンクの登録者について、事前にお手元にお配りしている（資料5裏面）に名簿を掲載させていただいています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課長主査)	<p>登録者は、個人の方では、食育インストラクターや調理師免許がある方、フードアナリスト、管理栄養士などの資格を持っている方等8名となっておりまして、団体では、苫小牧ヤクルト販売株式会社、ホクト株式会社、北海道調理師会、株式会社なの花北海道の4団体となっております。</p> <p>平成31年4月から現時点で9団体からの依頼を受けています。うち5団体は幼稚園・保育園、残り4団体は町内会・長生大学・高齢者の集いであるふれあいサロンからの依頼となっております。今回は8月28日、長生大学となっております。委員の斉藤さん、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>こちらは7月18日に苫小牧ヤクルト販売株式会社に依頼があった、はなぞの認定こども園での様子です。通常は紙芝居で行う「おなかのお約束」を、場所が広く人数も90名近くいたため、スクリーンを用いて実施したようです。園児たちがとても元気よく、楽しく進めることができましたと報告を受けております。</p> <p>こちらは7月24日に株式会社なの花北海道に依頼があった、桜木町ふれあいサロンでの様子になります。高齢者の食生活について、認知症予防の食事の基本、認知症予防が期待される食品についてのお話がありました。</p> <p>引き続き、市民の方に食育人材バンクについて普及啓発をさせていただきますが、委員の皆さま方の職場やお付き合いの中で、食育について講師として普及啓発していただける方がいらっしゃいましたら、是非登録のお勧めを、また知識を深めたいなどありましたら、講師を派遣いたしますので、是非ご連絡ください。</p> <p>食育人材バンクの報告については以上でございます。</p>
五十嵐委員長	<p>ただいま説明のありました議事3「食育人材バンク」についてですが、何か御質問や御意見等がありましたら、挙手をお願いいたします。</p>
藤岡委員	<p>今の報告では幼稚園や町内会の高齢者というのが多いかと思うのですが、実際資料の中で朝食を抜いている中高生も非常に多いと思いますので、先生方も十分わかっていると思いますが、逆に人材バンクもありますから、事務局から学校側に対して働きかけというのは考えていますか。</p>
事務局 (健康支援課主査)	<p>現在は平成31年4月からスタートしておりまして、まだ講師の方についても依頼があつたりなかったりということがありますので、まずは保育園や幼稚園、町内会等で実績を作ってから、検討していきたいと思っております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
五十嵐委員長	<p>学校で子どもたちを預かる立場としても、朝食を抜くなど、生活習慣の乱れは非常に気になる問題です。その原因の多くは、家庭環境にある場合が多いと思われます。学校からのアプローチだけでは限界があり、様々な関係機関が協力して、生活習慣の改善に向けた啓蒙・啓発等、連携した取組が必要かと思ひます。</p> <p>他にございますか。</p>
野村委員	<p>初めてこういう会議に参加してわかったのですが、こういう食育人材バンクの登録があるというのが初めてわかりました。ホームページ等を見ている方はわかったのかもしれませんが、広報ですとかもう少し一般の方が目に入るような形のようなものであると、もっと他の方からも「こういうことやっているのなら、うちの町内会でも来てほしい」とか、結構小学校でもいろいろな面で、私の地域は樽前地域なのですが、人数少ない中でいろいろな方を呼んで勉強会をしているのですが、このことをもう少し早くわかっていれば活用できたかなというところがあったものですから、まずこれも持ち帰って町内の方で検討したいなというところもあるものですから。</p> <p>もう少しPR的なものを活発にさせていただけるとありがたいと思ひました。</p>
五十嵐委員長	<p>ありがとうございます。御意見としていただきます。</p> <p>そしてどのようにPRしてきたのかご説明していただけますか。</p>
事務局 (健康支援課主査)	<p>PRにつきましては、みんなで健幸大作戦ということで、広報とまこまいに毎月後ろの方のページになりますが、小さく食育人材バンクのことについて掲載させていただいております。あと、今年度の普及啓発については5月上旬に町内会に配布したほか、健幸アンバサダーの受講者に対しての配付、社会福祉協議会、幼稚園、保育園、認定こども園や子育てサークル等に周知させていただいております。</p>
五十嵐委員長	<p>周知方法について説明がありましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>またさらに、市民に広く活動していただけるような周知方法等も考えていただけたらなと思ひます。</p>
市町委員	<p>謝礼とありますが、有償の場合はどこから出るのですか。</p>
事務局 (健康支援課主査)	<p>金額については、依頼者の方の負担になっておりますので、依頼者から登録者の方に支払う形となっております。調理実習等に関しては、会場費や材料費につきましても依頼者側の負担となっております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
市町委員	無償ということがそもそも考えられないのですが、無償ということはボランティアですね。お願いして交通費一つ出さないでそれで通っているんですね。
事務局 (健康支援課主査)	今現在依頼をいただいている件については、ホクトさんやヤクルトさん、なの花薬局さんなど、まずは、みなさん最初は比較的無償のところを選んでいくような傾向にあるかなと思います。
五十嵐委員長	それでは最後に、「その他」として本協議会として全体の議事を通して、委員の皆様から、どんな切り口でもよろしいので御質問や御意見があれば、せっかくの機会でもありますので、いただければと思います。
五十嵐委員長	ないようですので、以上で本日予定しておりましたすべての議事が終了となりました。予定していた時刻よりも早く終了いたしましたことにご協力感謝いたします。スムーズな議事進行に協力いただいたことに感謝を申し上げ、この議事を閉じさせていただきたいと思います。ありがとうございました。
事務局 (健康支援課長補佐)	五十嵐委員長ありがとうございました。 以上をもちまして、「第7回苫小牧市食育推進協議会」を閉会いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございました。